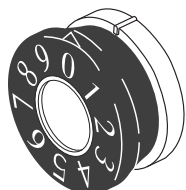


※この説明書は、必ず保管してください。

取付・取扱説明書

郵便受箱/錠前

myナンバー錠



お客様の解錠番号 ▼

	号室
--	----

このシールが製品に貼ってある場合は、ご使用前に必ず製品からシールをはがしてください。

このたびは、myナンバー錠〈タジマメールボックス 専用錠前〉をお買いあげいただきありがとうございました。ご使用前にこの説明書をお読みいただきmyナンバー錠の機能をご理解のうえ、末永くご愛用ください。お読みになったあとは必ず保管してください。

●安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、お客さまに特に注意していただきたい事項には、右記のようなマークと見出しをつけています。この説明書の中で、これらのマークと見出しがありましたら、記載内容をお読みのうえ十分注意してください。



注意

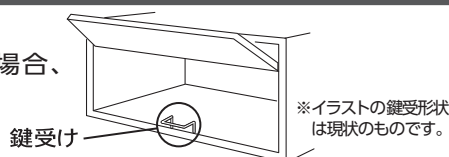
取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、または物的損害の可能性のあることを示しています。

錠前交換の前に郵便受けの鍵受け形状をご確認ください



注意

製品に旧タイプの鍵受けが付いている場合、本錠前への交換ができません!!



※イラストの鍵受け形状は現状のものです。

◇旧タイプの鍵受け形状一覧

(※1982~1992 製造の旧タイプ)

MX-2	MX-3	MX-4	MX-5	MX-7	MX-8	MX-41

(上記以外の郵便受けには、旧タイプの鍵受けはありません。)

■郵便受箱/錠前 保証書

1. 保証期間 納品日から2年間（納品書は大切に保管してください）

2. 保証規定 保証期間内に製造上に起因する故障が本製品に認められた場合、無償で修理致します。

本製品は郵便受箱（タジマメールボックス）の純正部品です。当社の郵便受箱以外で使用された場合、当社はその責任を負わないものとします。

(1) 取り扱い上の不注意や誤ったご使用方法、適切な維持管理をして頂けなかったことによる故障、及び損傷。

(2) 取付説明書に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。

(3) 建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する故障、及び損傷。

(4) 塗装の色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。

(5) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。(6) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。

(7) 火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・水害その他天災地変または戦争・暴動などの破壊行為による故障、及び損傷。

●保証規定は日本国内においてのみ有効です。離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。

●本書は必ず保管してください。

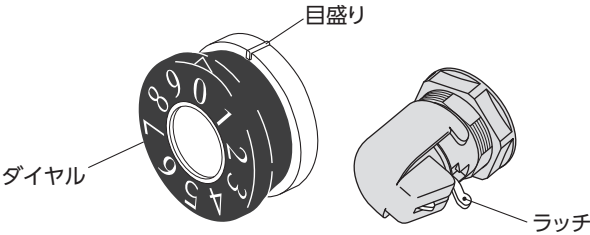
●製品に関する修理・取扱方法等のご相談窓口について

お問い合わせの際はご使用の錠前をご確認の上、下記へご連絡ください。

サービス課 TEL03-5977-1765 FAX03-5977-1766

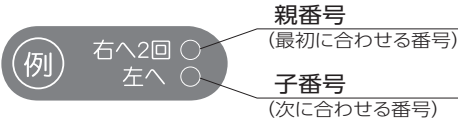
〔製品名〕 myナンバー錠

田島メタルワーク株式会社



●解錠番号シールの見方

表紙に貼られたシールの親番号と子番号が解錠番号です。



■錠前の操作方法

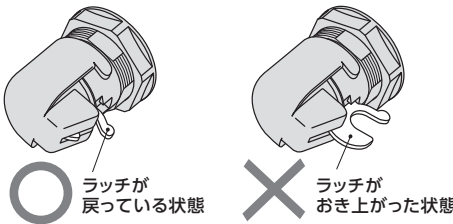
●操作手順	例 右へ2回 2 左へ 8		例 左へ2回 7 右へ 5
親番号を合わせる (1回目)	右へ 目盛り	○あける 親番号(最初に合わせる番号)を指定方向に回し、2回目盛りに合わせます。 次に子番号(次に合わせる番号)を逆方向へ戻して合わせると解錠されます。	左へ 目盛り
親番号を合わせる (2回目)			
子番号に合わせる	左へ		右へ
そのまま		○しめる そのまま解錠番号の状態ですべてを閉めます。	
1回転以上 まわす		○かける 子番号の方向へ1回転以上回します。 (注) 1回転以上回さないと子番号を合わせただけで開く場合があります。	

※番号の位置によっては1回合わせるだけで開く場合があります。親番号は2回以上合わせても支障ありません。

○操作上のご注意

- 扉が開いている時はダイヤルは回しません。
⚠注意 無理にダイヤルを回すと破損しますのでご注意ください。
- 扉を引きながらダイヤルを回さないでください。
⚠注意 錠前の故障もしくは解錠出来なくなる原因となります。
- ラッチがおき上がった状態では扉は閉まりません。
⚠注意 無理に扉を閉めると錠前が破損することがあります。

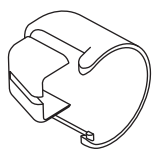
※ラッチがおき上がった状態になっている場合は、指でラッチを押し戻してください。
動かない場合は、その状態で解錠操作をおこない、それからラッチを押し戻してください。



○錠前が開かない場合

- 指定の回転方向に親番号を2回、必ず目盛に合わせてください。(番号の位置によっては1回合わせるだけで開く場合があります)
- 子番号は親番号を合わせた回転方向とは逆の方向に1回だけ合わせてください。(1回転以上すると再び施錠されます)
- 郵便物をつめ込みすぎると、開かなくなる場合があります。郵便物をため込みすぎないように、定期的にお取り出しください。
つめ込みすぎて錠前が開かない場合は、投入口から出来るだけ郵便物を取り出し、錠前の施錠部分に隙間を作るようにしてください。

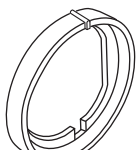
部品の名称



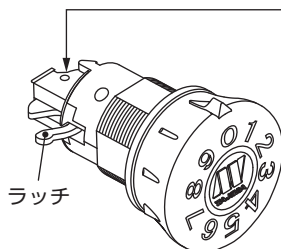
カバー



ナット



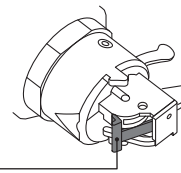
※) 化粧リング



ラッチ

錠前

レバーを操作しないでください



レバー

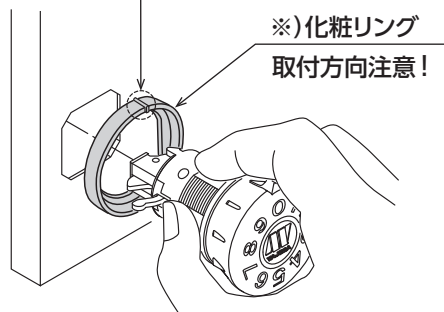
グレーのレバーは、解錠番号を変更時以外は触らないでください。

■ 取付方法

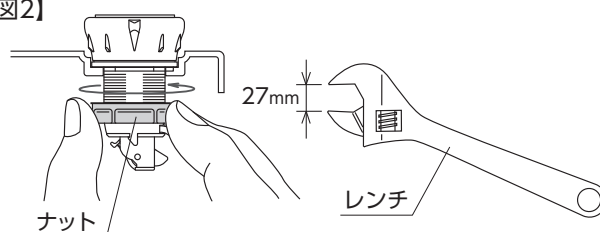
1. ラッチが戻った状態で、扉の表側から取付穴にラッチをくぐらせそのまま差し込みます。【図1】
2. 錠前の後ろ側からナットをくぐらせます。錠前のネジ方向に対して水平になるように、ナットをレンチ等の工具で完全に締め込みます。【図2】
3. カバーの突起部分を軸穴に挟み込むようにはめてください。【図3】

【図1】

番号合わせの突起が12時の位置になるようにセットしてください。

※) 化粧リング
取付方向注意!

【図2】



【図3】



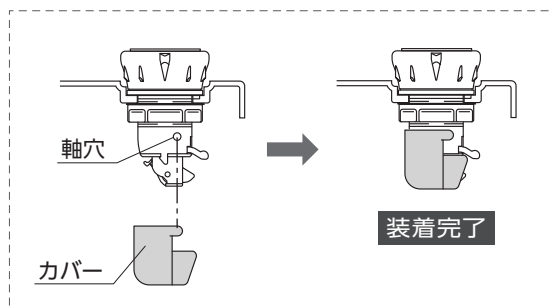
突起部分

カバー

※) 化粧リングを取り付ける場合

- 錠前を差し込む前にくぐらせておきます。
- 化粧リングの方向を間違えやすいので図1をよくご覧になって取り付けてください。

お使いの郵便受けに化粧リングがついていない場合、化粧リングを付ける必要はありません。



装着完了

錠前の取り替え注意事項

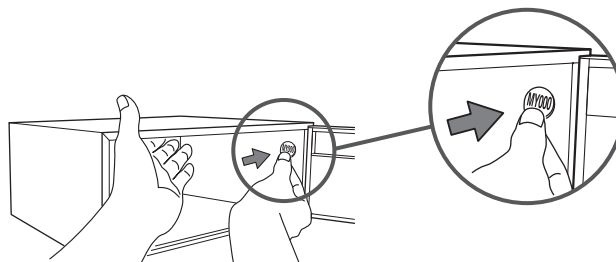
● ナンバーシールを必ず貼ってください

同封の丸いナンバーシールは錠前を管理する番号です。



ナンバーシール

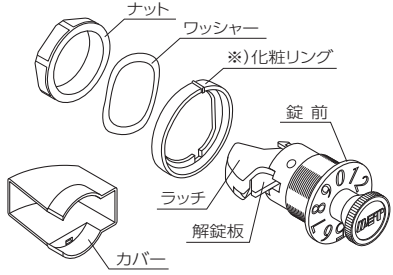
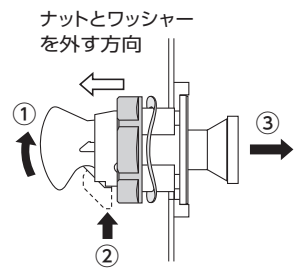
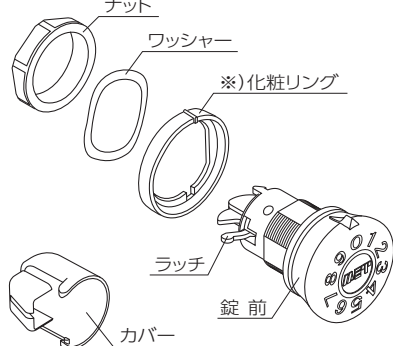
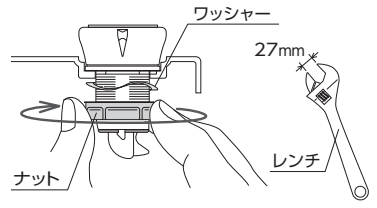
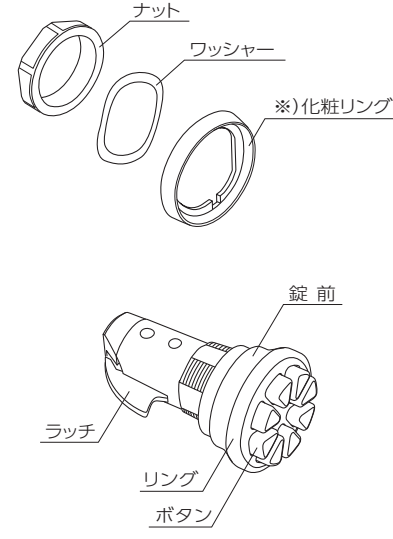
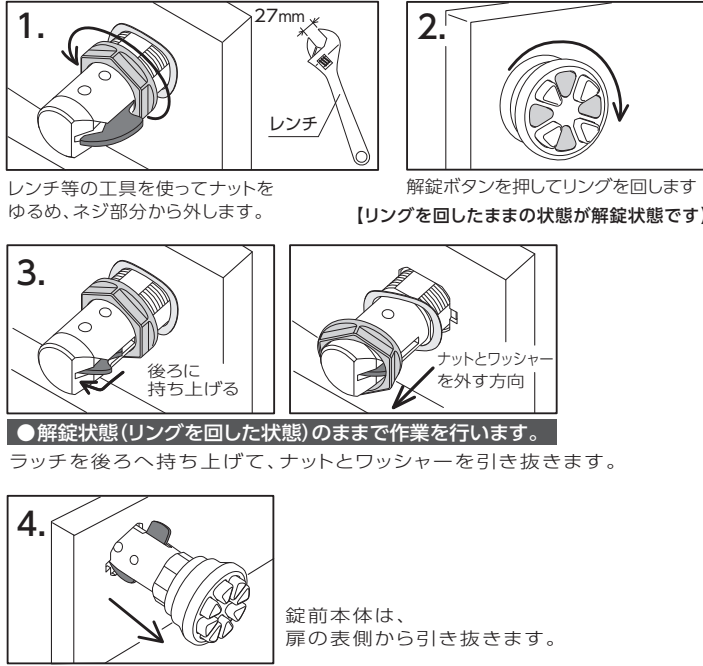
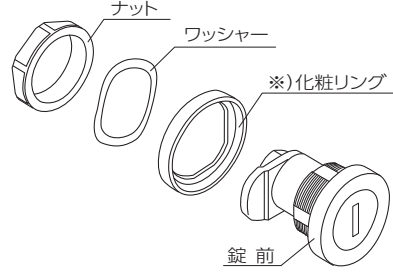
必ず貼ってください



交換前のナンバーシールを剥がした後、本錠前のナンバーシールを必ず所定の位置(本体内部右側面)に貼ってください。

■各種錠前の取り外し方法

注) 2014.4 出荷分よりワッシャーは付属されておりません。
 注) 機種によっては図の化粧リングを使用していないものがあります。

錠 前	取り外し方
96ダイヤル錠 	1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。 ●カバーがついてる場合は外します。 2. ラッチを①の方向に動かし解錠板を②の方向に押し込んでナットとワッシャーを外します。 3. 解錠板を押し込みながら錠前を③の方向へ引き抜きます。 
フリーダイヤル錠 セットダイヤル錠 myナンバー錠 ラッチロック  ●カバー(myナンバー錠・セットダイヤル錠のみ)	1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。 ●カバーがついてる場合は外します。 2. ナットとワッシャーを外します。 3. 錠前を扉の表側から引き抜きます。  ◇ラッチがおき上がった状態で取り外すことはできません。その場合は、指でラッチを戻してください。動かない場合は、その状態で解錠操作をおこない、それからラッチを押し戻してください。  ラッチがおき上がっている状態 ラッチが戻っている状態
デジタル錠 オートデジタル錠 	1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめ、ネジ部分から外します。 2. 解錠ボタンを押してリングを回します 【リングを回したままの状態が解錠状態です】 3. ラッチを後ろへ持ち上げて、ナットとワッシャーを引き抜きます。 4. 錠前本体は、扉の表側から引き抜きます。  ●解錠状態(リングを回した状態)のままで作業を行います。
シリンダー錠 	1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。 2. ナットとワッシャーを外します。 3. 錠前を扉の表側から引き抜きます。  扉の裏側 扉の表側

●詳しくは弊社ホームページをご覧ください。ホームページでは動画もご覧いただけます。 <https://www.metalwork.co.jp>

myナンバー錠 解錠番号変更方法について



注意

操作の前に必ずお読みください

- 解錠番号の変更操作は必ず扉に取付けた状態でおこなってください。
- 手順以外の操作をされますと不明の番号に設定される場合がありますので、あわてず・ゆっくり操作してください。
- 変更操作後はお客さまの責任において、解錠番号の管理をお願いします。



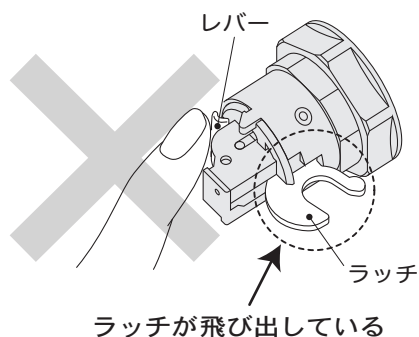
注意

レバー操作の注意!!

ラッチが飛び出した状態でレバーを操作されますと、全く不明の番号に設定されることがあります。

ラッチが飛び出した状態

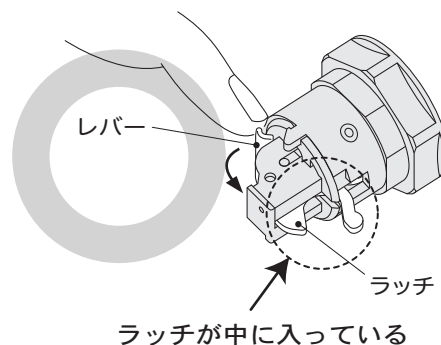
※レバーを操作しないでください



ラッチが内に入った状態

レバーの操作が可能です

レバーを可変位置まで移動させ解錠番号を変更する



注意

新しく設定された解錠番号はお客さまにしかわかりません。
お忘れにならないよう必ずメモをして適切に管理してください。



新しく設定する解錠番号を記入してください。

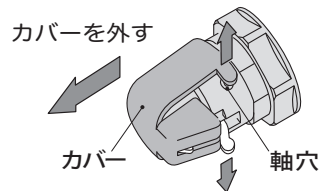
右へ2回	左へ	左へ2回	右へ

解錠番号の変え方

1

カバーを外してください

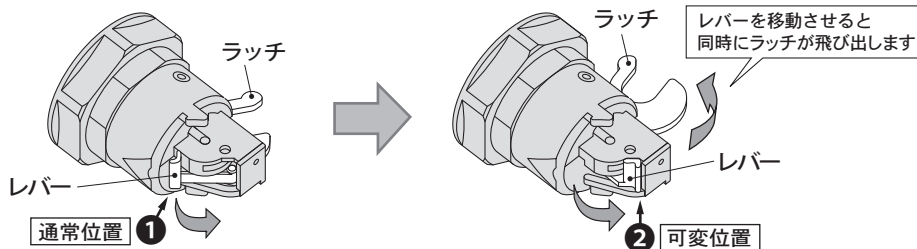
軸穴からカバーの突起を抜き、
カバーを取り外します。



2

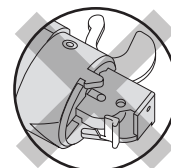
レバーを動かしてください

レバーを①通常位置から②可変位置に、動かなくなるまで移動させてください。



①の通常時の位置からレバーを動かす ②の可変位置に止るまでレバーを移動

注意

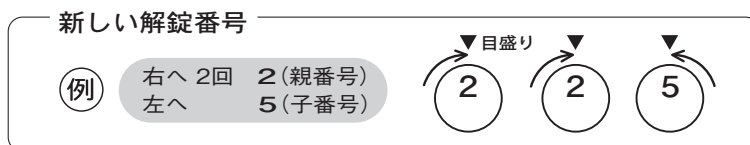


※レバーを途中で
止めないでください

3

新しい解錠番号に合わせてください

新しく設定する解錠番号が決まりましたら、必ずメモをおとりください。



■設定方法

- 最初に親番号を合わせます：ダイヤルを右(左)に回し、親番号を2回、目盛りに合わせます。
- 次に子番号を合わせます：ダイヤルを左(親番号設定の逆方向)に戻して、子番号に合わせます。

注意

※ダイヤルがズレないように確実に
合わせてください。

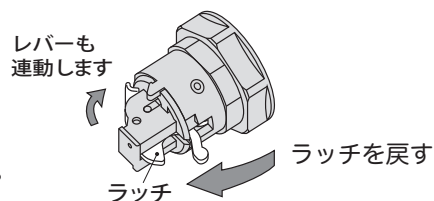
※合わせる番号を過ぎて回した場合は
「最初の番号を2回合わせる」から
やり直してください。

4

ラッチを戻してください

ラッチを戻します。同時にレバーも可変位置から
通常時の位置に移動します。

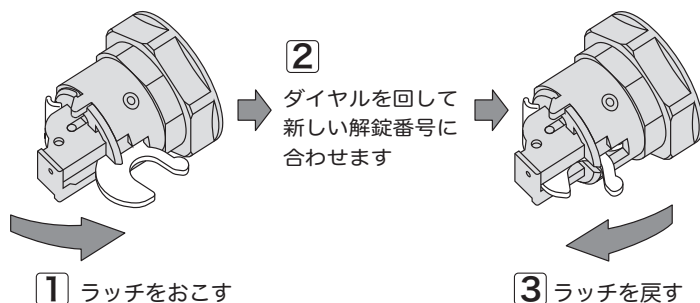
●ラッチを戻すと設定した新しい解錠番号に変換されます。



5

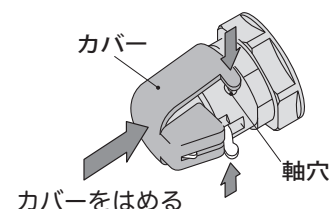
新しい番号を確認してください

ラッチをおこし、新しい解錠番号に合わせます。
ラッチが戻れば正しく解錠番号が設定されています。



6

カバーをはめてください



カバーをはめて、突起を軸穴に
差し込みます。